

## ●特集：中京大学理工系四半世紀記念式典

### 中京大学理工系四半世紀記念事業を終えて

世話人会、幹事会代表・IASAI 主任  
伊藤 秀昭

#### 事業の始まり

中京大学理工系は1990年4月の「情報科学部」の設置に始まり、一年後の「人工知能高等研究所 (IASAI と記します)」の開設、学部の完成に合わせた大学院「情報科学研究科」の設置と続きます。2016年度は、情報科学部に続く情報理工学部や生命システム工学部が改組された「工学部」の完成年度、「人工知能高等研究所」の25周年、工学部完成に伴う大学院情報科学研究科の「工学研究科」への改組とその初年度にあたる年です。ここで、中京大学理工系は「工学部」、「工学研究科・情報科学研究科」および「人工知能高等研究所」を指します。また、四半世紀の間に理系学生 約 6,800 名、大学院生 (修士、博士)

約 440 名を社会に送り出し、研究科は約 30 名に博士号を授与しました [5]。

中京大学理工系を四半世紀でくくると、「2016年度は我々の記念と出発の年としてみられるのではないか、それを記念して記念事業の実施を」という発案が、興水大和 工学部教授・IASAI 所長よりなされました。提案が諮られ、時宜になかった催しを開き、これまでの経緯を確認して将来の展望を得るた



図 1 四半世紀記念式典当日の立って看板 (2017年2月17日)

中京大学理工系四半世紀記念式典 式次第			
中京大学理工系四半世紀記念式および記念講演会			
日時	2017年2月17日(金) 15:15~17:00		
場所	中京大学名古屋キャンパス図書館・学術棟(1号館)3階 「清明ホール」		
記念式			
1. 主催者挨拶	世話人会代表・人工知能高等研究所長	興水 大和	
2. 祝 辞	梅村学園 総長・理事長	梅村 清英	
3. 来賓祝辞	株式会社 富士通研究所 代表取締役社長	佐々木 繁 様	
記念講演会			
演 題	『人工知能研究の来し方、行く末』		
講 師	東京大学特任教授・公立ほこだて未来大学名誉学長 中島 秀之 氏		
中京大学理工系四半世紀記念ワークショップ			
場所	中京大学名古屋キャンパス図書館・学術棟(1号館)1階		
時間	14:00 ~ 15:00		
内容	院生・学生によるパネル展示		
中京大学理工系四半世紀記念パーティ			
日時	2017年2月17日(金) 17:30~19:30		
場所	中京大学名古屋キャンパス アレーナ 211		
1. 開 会	情報科学研究科長	長谷川 純一	
2. 世話人会代表挨拶	人工知能高等研究所長	興水 大和	
3. 学 長 祝 辞	学長	安村 仁志	
4. 来賓挨拶・乾杯	名古屋大学名誉教授	稲垣 康善 様	
5. 招 待 者 挨拶			
6. 祝 電 披 露			
7. 閉 会	工学部長	井口 弘和	

図 2 記念式典当日に記念パーティで配布された式次第

- 1 世話人会：興水大和 (代表)、福村晃夫 (顧問)、井口弘和、長谷川純一、沼田宗敏、青木公也、瀧剛志、伊藤秀昭 (敬称略)
- 2 幹事会：興水大和、青木公也、瀧剛志、土屋孝文、上芝智裕、伊藤秀昭 (敬称略)

めの事業を理工系として取り組むことになりました。2014年9月のことです。事業を推進する世話人会<sup>1</sup>、および実行の実務を担当する幹事会<sup>2</sup>が組織されました。それから約1年半の期間で、企画が練られて、種々の事業が実施されてきました。なお、「理工系」が組織を表す言葉として適切かどうかというような意見がありました。例えば、「理工系組織」とか「理工系教育・研究」といった「理工系・・・」となる「・・・」が必要ななどというようなことです。近頃は「系」も学部や専門を表す言葉として使われているようなので、「理工系」を用いました。

## 記念事業の企画意図と事業

記念事業開催の具体的な目的は1.～3.のようなことでした。

1. 中京大学理工系のこれまでを振り返り、今後の方向を考える機会とすること
2. 中京大学理工系が着実に、地域の理解を得ながら発展したことを、関係機関、ならびに関係者と共に祝うこと
3. 次世代の研究者を助ける機会とし、思想や思考を受け継ぐ人材育成の一助とすること

表1 学生向きレクチャーシリーズの開催学科と講師

機械システム工学科	次世代AI：人狼知能プロジェクト	鳥海 不二夫 東京大学准教授
電気電子工学科	人工知能とコンピュータ囲碁	加藤 英樹 チーム DeepZen 代表
情報工学科	人工知能はどこまで来たか どこに向かうか	松原 仁 はこだて未来大学教授
メディア工学科	音楽を眺め・映像を聴く～視覚と聴覚を駆使したマルチモーダルメディア技術事例～	伊藤 貴之 お茶の水女子大学教授

主要な事業は以下に示す(1)～(6)の通りです。

- (1) 中京大学記念式典（2017年2月17日）（詳細は本号参照、記念式、記念ワークショップ記念講演会、記念パーティの開催）
- (2) 記念出版（記念誌はIASAI News No. 39）
- (3) (学科毎の) 学生向きレクチャーシリーズ
- (4) ソフトサイエンスシリーズ（第37回、第38回）の共催
- (5) ロゴの制定と中京大学理工系四半世紀記念（宣言）の採択
- (6) パンフレットの作成とホームページの開設

(1) 記念式典は市民の方々、本学関係者、共同研究者などの参加を得て、本事業の中心事業として成功裏に終了いたしました。記念パーティはお客様をご招待するという形で行われました。学部教員OBの方々も招待いたしました。図1に記念式典の建物前に設置した立て看板を、図2に記念パーティの式次第を示します。(2) 記念出版としてIASAI News No. 39をまとめて、記念式典で発行、公開しました。ただし、四半世紀記念事業に関する記事はNo. 39だけではなく、本号を含めて前後のIASAI Newsにも掲載されています。(3) 学生向きレクチャーシリーズは学生向きの講演会として実施され、講師は各分野で活躍中の現役研究者の皆様をお願いすることができました<sup>3</sup>。表1にレクチャーの概要を示します。(4) ソフトサイエンスシリーズは名古屋市科学館との定例的な講演会です。名古屋市科学館のご理解が得られて、ご高名な先生方を講師としてお迎えすることができ、本事業記念講演会として実施されました。ソフトサイエンスシリーズ第37回の講師は坂村健 東京大学教授、第38回の講師は中島秀之 東京大学特任教授でした。図3と図4に各々のポスターを示します。(5) 本事業の目的と精神はロゴと宣言に表されています。ロゴデザインは上芝智裕 メディア工学科准教授によります。ロゴ<sup>4</sup>は「四半世紀」が独自のフォントで中心におかれ、上下の格子は過去と未来へのつながりと広がりを見せています。色は人工知能高等研究所のロゴと色目があります。また、宣言は本事業の趣旨を表しています<sup>5</sup>。(6) 広報活動のために、一部に四半世紀の記事を含むIASAIパンフレットを作成したり、ホームページを

3 文献[2] pp.22-29に概要が報告されています。

4 ロゴは様々なところに利用されました。例えば、図1 立て看板、文献[3]の表紙、など。本号表紙にも使われています。

5 「中京大学理工系四半世紀記念宣言」は、文献[1,2,4]に記載されています。

作成したりしました。

これらの事業の実施において企画段階から特に留意した点は、少なからず時間を共有している学生や院生の参加を如何に促すのかということでした。レクチャーシリーズの開催、記念式典でのポスター展示など、学生や院生をまきこみながら事業を推進することにより、次世代に研究や教育のおもしろさを伝えることができると考えたからです。



図3 第37回ソフトサイエンスシリーズのポスター  
講師は坂村健東京大学教授



図4 第38回ソフトサイエンスシリーズのポスター  
講師は中島秀之東京大学特任教授

## 終わりに

約一年半にわたって企画して実施を進めてきた記念事業は、記念式典の開催でまとまりをつけることができました。記念事業が皆様に喜んで頂ければ、世話人会ならびに幹事会として喜びとするところです。また、招待制ではありましたが開催された記念式典における記念パーティにて旧交を暖めたり、親交を深めたりして頂けたかと思えます。

本記念事業の実施にあたり、多くの方々にお世話になりました。記念講演会、ソフトサイエンスシリーズでの講演会、学生向きレクチャーシリーズの講師を快く引き受けて下さった先生に僭越ではございますが深謝いたします。記念式典では、多くのご来賓のご臨席を賜っただけではなく、ご丁寧なごあいさつを頂くことができました。ご挨拶賜った方々に感謝いたします。なお、度々参照しましたが IASAI News No. 39[2] および本号 [3] には講演会、レクチャーシリーズおよび記念式典の詳細を報告しています。それらをご参照ください。お忙しい中で四半世紀記念事業に携わって頂いた方々と、その内容をご紹介します。

実施に際して学園、理事会の皆様には大変お世話になりました。関連部局の皆様のご尽力と理事会のご援助がなければ実施できませんでした。ありがとうございました。

中京大学理工系が四半世紀記念式典を挙行するといったところもちのある組織に育ち、四半世紀の間に発展した組織として、理工系を維持してこられたのは共同研究者、関連する企業の関係各位、学園の関係者、多くの学生、卒業生ならびに工学部教員各位のご努力、ご協力の賜であると改めて思い至っております。ご協力とご尽力に記念事業の世話人・幹事として、深く感謝いたします。

## 【文献】

- [1] IASAI News No. 37, 2015.12. web 出版.
- [2] IASAI News No. 39, 2017.2.
- [3] IASAI News No. 40, 2017.6(出版予定).

IASAI News は IASAI ホームページ公開しています。 <http://www.iasai.sist.chukyo-u.ac.jp/iasainews.htm>.

- [4] IASAI 人工知能高等研究所パンフレット, 2016年3月発行.
- [5] 中京大学ホームページ, 学生情報, [http://www.chukyo-u.ac.jp/public\\_information/a5.html](http://www.chukyo-u.ac.jp/public_information/a5.html).